



三井新成 議員

## 区未加入者への対応は

**住民登録時に加入説明をするが様々な問題がある**

質問：各区や各集落組合の未加入者の現状は。

町長：町内5600世帯のうち、未加入は約1000世帯で、近年の状況は横ばい。

質問：過去に開催された行政区加入対策検討委員会の協議内容とその成果は。

町長：委員会の報告では、価値観の多様化や財産の権利の問題があり、区政のパターンも違つたため、大変難しい。

質問：転入時文書での案内の他、土地の購入時、建築確認申請時等に加入を依頼する考えは。

町長：それぞれの手続きは、代理人が行うので、町としては住民登録時

に区への加入について説明しているのが現状である。

質問：加入を促すために、富士見町民入区内規等を制定する考えは。

町長：地域「ミニユーティ」の紹介を始めた既に住んでおられる方も入区をしてほしいと考えているが、基本的には各区から直接入区を勧めて頂きたい。

## ■町長任期残り一年の課題について

質問：3年間を振り返っての自己採点は。

町長：継続と改革をスローガンに、子育て支援や教育の向上、協働のまちづくりの取組みを続ける一方、改革としてリーディングプロジェクト6項目に取組み、順調に実績が上がっている。

質問：残した課題をどう進めるか。

町長：今後もこつした取り組みを続けるとともに、自然エネルギーが豊富な町をつくり、リニア新幹線ができるれば都市のベットタウンにもなりうる可能性を見越し、富士見町のポテンシャルをいかに発展につなげるか、その道筋をつけたい。

□その他の質問

\*区・集落組合の「ミニユーティ」形成について

\*町内の放置建物をなくすために  
\*観光圏事業について

質問：無料塾の基本方針は。  
教育長：つまずいた子どもも、さらに上を目指す子どもも、双方に対応出来る体制づくりを目指す。少人数指導、個別指導、習熟度別授業等を検討している。子ども自身が家庭学習を習慣化させることも大切である。



小池 勇 議員

## 「教育の町づくり」をどう進めるか

**無料塾を中心に、児童生徒の学力向上を図る**

質問：なぜ今学力向上か。

教育長：学習指導要領改訂による授業時間の大増加、清陵の中高一貫化への対応要請、社会が急速にグローバル化し、使える英語教育が求められること等が背景にある。知・徳・体

が調和した、社会的に自立した人間育成のために、基礎の定着と伸びる力を身につけさせたい。

質問：ゆとり教育の総括は。

## ■日中友好について

質問：日中友好のため、町として友好協会にどのような支援協力が可能か。

町長：日中友好協会は、独立した組織であり、町は事務局としての支援

は最大限する。中国との関係はより深まっており、議員提案の、「新たな友好協会像」は関心を持って見ていただきたい。

え。